

# 黒米エキスの新知見

## 網膜血管新生抑制を確認 オリザ油化

オリザ油化(愛知県一宮市、05660-0005・5141)は、岐阜薬科大学・原英彰教授との共同研究の結果、機能性食品・化粧品素材である「黒米エキス」の眼に対する機能性を新規に見出した。

同社はこれまで黒米から「アントシアニン」である「cyanidin 3-O-glucoside」

peonidin 3-O-glucosideなどの機能性成分を多く含むエキスを抽出し、ポリフェノールおよびアントシアニンを規格化した水溶性に含むパウダータイプの製品を09年に上市している。

これまでに明らかになっている生理活性は、糖質吸収阻害、皮膚構成成分分解酵素(エラスターゼ、コラゲナーゼおよびヒアルロニダーゼ)の阻害、美白、抗酸化などの作用だが、同社と原教授との研究チームはこれまで報告されていなかった。網膜血管新生抑制作用を新たに確認した。

血管新生疾患の原因因子である。黒米エキスは、ヒト網膜毛細血管内皮細胞およびヒト臍帯静脈内皮細胞を用いた試験により、異常な血管新生を抑制する働きがあることが分かった。さらに、含有成分であるcyanidinおよびpeonidinにも同様の作用が認められ、活性成分であることが示唆された。

これらの結果から、黒米エキスは眼疾患に対する予防作用を有することが明らかとなった。今後、同社の持つ眼病予防素材であるルテインや、メジャーなアイ

ケア訴求素材の一つである「ブルーベリーエキス」などとの配合提案も積極的に行っている。

血管新生は既存の血管から新しい血管ネットワークが形成される現象で、胎生期などには生理的に生じるものだが、病的な血管新生はがんや関節リウマチなど多くの疾患の進行過程で中心的な役割を担う。

眼科領域では、糖尿病網膜症および加齢黄斑変性症などの網膜・網膜下